

ごあいさつ

皆様には平素より当金庫に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当金庫では信金中央金庫様および銚子市役所様・銚子商工会議所様・銚子市観光協会様・千葉科学大学様のご協力のもと、「銚子市観光活性化への提言」を作成し、公表させていただき運びとなりました。

当金庫の営業エリアにある銚子市は、関東平野の最東端に位置し、江戸時代より利根川水運の隆盛を背景に、漁業と醤油醸造により発展をした地域であります。また、温暖な気候と新鮮で豊富な魚介類により観光地としての歴史も古く、犬吠埼灯台や屏風ヶ浦の景観など多くの文化人や観光客に愛され親しまれてきました。

しかしながら、当地域では、少子高齢化による人口減少、雇用機会喪失による人口流出、地場産業の縮小、農水産業の担い手不足、観光客の減少など、様々な問題を抱えており、銚子市全体での地域活性化が大きな課題となっております。

本提言は、銚子信用金庫創立100周年記念事業のひとつとして取り組みました地域貢献事業であり、当金庫が地域とともに生き、持続可能な地域経済に貢献するという使命を担っているという視点から、銚子市経済の基幹産業である観光業が抱えている問題を調査するとともに、その認識を深め、問題解決のための糸口を探ることを目的にまとめておりますので、銚子市観光活性化の一助にいただければ幸甚に存じます。

私ども銚子信用金庫は、1. 地域・お客さま、2. 組織・金庫、3. 職員・職場の「三位一体の経営」を経営理念としており、地域とお客さまとの深い信頼関係を築いていくことにより共に発展を遂げることを願っております。

100周年記念事業に掲げる「ウレシイ！しんきん」というシンボル・メッセージは、まさにこの信頼の獲得と維持、そしてさらなる向上を目指すことを宣言しており、本事業についても、「当金庫の活動で、地域がウレシイ」につなげていきたいと願っております。

末筆となり恐縮でございますが、この提言書を作成するにあたり、多くの方々にご協力いただきましたことに感謝とお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

銚子信用金庫

理事長 **岩瀬 喜克**

ごあいさつ

銚子市は、東京から約100キロメートルの関東平野の最東端に位置し、北は利根川、南と東は太平洋と三方を水に囲まれ、犬吠埼や屏風ヶ浦などの雄大な自然景観、日本有数の水揚量を誇る銚子漁港、日本一早い初日の出、世界の歴史的灯台100選に選ばれている犬吠埼灯台、ぬれせんべいで有名な銚子電鉄、釣り船やイルカウォッチングなどの海洋レジャー、醤油工場見学、一年を通して新鮮で多様な魚介類が味わえることなど多くの観光資源に恵まれております。

しかしながら、近年、団体観光から個人観光へ、物見遊山型観光から学習型・体験型観光へと観光形態が変化するとともに、観光ニーズが多様化したことにより、これまでの団体旅行が中心であった本市の観光客は、年々その数が減少している状況です。

また、東日本大震災においては、宿泊施設や観光施設に大きな被害はなかったものの、自粛ムードや風評被害により観光客が激減したことで、銚子市の観光業は壊滅的な被害を受けるなど、銚子市の観光を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっております。

このような状況の中、銚子信用金庫様、信金中央金庫様のご協力をいただき、平成22年10月に銚子市の観光活性化及び地域活性化に向けた「銚子市観光振興コンサルティング事業」が実施され、この度、提言書が策定されることとなりました。

この提言書では、アンケート調査やヒアリング調査などにより銚子市の現状分析を行い、強みや問題点を把握したうえで、銚子市の観光活性化の方向性が示されており、また、具体的な観光活性化策についても提案されております。特に、新鮮な魚介類などを活用した「食」に関する施策や既存の観光資源を活用した滞在型観光を推進するための施策など、銚子ならではの施策が数多く提案されております。そしてなによりも関係団体との連携の強化を図ることが最優先課題であり、早急に取り組むべきとされております。

今後は、この提言書を積極的に活用するとともに、銚子信用金庫様をはじめ、今回設立した銚子観光振興協議会の委員の皆様や関係団体との連携をより一層強化することで、さらなる観光活性化を図って参りたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、銚子観光振興協議会の設立から最終報告までご尽力を賜りました銚子信用金庫様をはじめ関係団体や就任をいただきました委員の皆様、そして短期間で銚子市の観光に対する分析から提言までまとめていただきました信金中央金庫様に御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

銚子市長 野平匡邦

ごあいさつ

この度、銚子市の地域資源である観光振興の観点から、銚子信用金庫と信金中央金庫のご尽力を賜り、「銚子市観光振興コンサルティング事業報告書」が発刊されたことにつきましてご挨拶申し上げます。

当市は、三方海に囲まれ、夏は涼しく、冬暖かく、四季を通して多くの観光が社寺参詣・買い物・食事・海洋レジャー・工場・農場及び観光施設見学等で毎年250～270万人の観光客が訪れております。しかし、市内には長時間滞在できる施設が少なく、宿泊者数は約25万人で多くの観光客は日帰りとなっています。このような中、本年3月に発生した東日本大震災による風評被害等で激減した観光客をいかに取り戻すために商工会議所としては市をはじめ観光協会・旅館組合と“銚子の元気つたえ隊”を結成して、東京近郊へ数回キャラバンを実施して、“元気で安心な銚子”をアピールしていくことで活路を見出すことが出来ました。また、市・観光協会と連携して、新たな観光資源の開発をはじめ着地型ツアー等の観光メニューの作成を行い、宿泊客増加に向けて積極的に関わっていかねばならないと考えております。

このような状況の中、今回地元本店を構える銚子信用金庫の創立100周年記念事業として「銚子市観光振興コンサルティング事業報告書」が多くの市民・観光事業者及び観光客からの意見が多く取り込まれてまとめられたことは、私ども地域総合経済団体にとりまして大変意義のあることであります。今後の観光振興策の柱として活用を図って参りたいと考えております。この報告書には、観光活性化に関する各種アイデアが具体的に掲げられておりますので、その具現化のための調査・研究を進めて参りたいと考えておりますので、関係各位の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、報告書発刊までにご尽力を賜りました銚子信用金庫並びに信金中央金庫、また、貴重な資料をご提供頂きました銚子市の関係者の皆様にお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

銚子商工会議所

会 頭 伊 藤 浩 一

ごあいさつ

このたび、銚子信用金庫・信金中央金庫様の御協力によって、銚子市の基幹産業のひとつである観光業の活性化策として、「滞在型観光地の確立」にむけた、銚子観光振興協議会による提言書「銚子市観光振興コンサルティング事業」報告書が発刊されました事につき、ごあいさつ申し上げます。

銚子は、東京から鉄道・車等で2時間～2時間半程度と有利な場所に立地し、周囲が海に囲まれた海洋性気候のため温暖で冬でもほとんど雪が降ることがないなど、通年型の観光が可能な土地です。

また、日本一の水揚げ量を誇る銚子漁港や露地野菜を中心とした農業も盛んで、これらの食を目的にした観光客も多数訪れております。

さらに近年では、犬吠埼の温泉郷や濡れ煎餅で一躍全国的に知名度を高めた銚子電鉄など、新たな観光資源も出てきています。

しかしながら、銚子市の人口減少率は千葉県の市の中でトップでありまちなかの商店街ではシャッターを下ろした店が目立つなど、農水産業と食品加工業など1・2次産業を軸にした従来の産業構造では市の活性化は望むべくもありません。

その様な状況下、今回地元の銚子信用金庫様が創立100周年を迎え、その記念事業として信金中央金庫様の協力のもとにこの報告書がまとめられた事は、地域振興の柱としての観光のあり方に示唆を与えるものであり、大変意義深いものと考えております。

この報告書には、銚子を首都圏の人にとっての滞在型観光地とするためには、何をどう変え、確立していかねばならないのか、その現状分析と、問題解決のための様々なアイデアが掲げられています。

私どもの観光協会は、銚子ポートタワーと地球の丸く見える丘展望館という銚子の代表的な観光施設を銚子市から指定管理者の指定を受け運営していますが、今回の東日本大震災以降客足が途絶え、大変な状況になっております。

従来やり方では通用しなくなっている今、この報告書のアイデア等を具体化していかなければならないと痛感している次第です。オール銚子で取り組んでいければと思っております。

結びに、報告書発刊までにご尽力賜りました銚子信用金庫並びに信金中央金庫、銚子市、銚子商工会議所の皆様に御礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

社団法人 銚子市観光協会

会長 坂本 雅信

ごあいさつ

銚子信用金庫 100 周年記念事業として信金中央金庫と共同で実施された銚子市観光振興コンサルティング事業が報告書としてまとめられるのに際して、銚子観光振興協議会委員の 1 人としてご挨拶申し上げます。

銚子市における観光の詳細な現状分析、特に東日本大震災以降の深刻な状況をふまえた数々の提言をまとめられた事に敬意を表します。これらを具体化し、実行していくについて、大学として協力してまいりたいと考えております。

他地域での取組み事例として、世界ジオパークに認定されている島原半島ジオパークが紹介されております。銚子市も地質学的に貴重なサイトを数多く有しており、これらを国内ジオパークネットワーク認定の「銚子ジオパーク」としようとする活動があり、千葉科学大学としてこれを応援しております。これは新たな観光客の掘り起こしにつながると考えます。さらにジオパークを理科の教材として市内の小中学校で活用することにより、地域を愛する心を育てていきたいと考えます。地域を愛する心を持つことにより、観光客に接する銚子市民のホスピタリティが向上し、これが銚子市の魅力アップにつながると考えます。

結びに本コンサルティング事業が提言している内容が順次実施され、銚子市の観光事業が元気を取り戻すこと、そして地域の活性化が促進されることを祈念します。

千葉科学大学

学長 赤木 靖春